

さとしゅう

議会だより

No. 70
2012.10.31



岡山県 里庄町議会



- 平成23年度決算 賛成多数で認定 (2)
- 基金をなるべく崩すな(質疑より) (5~)
- 道路修繕500万円・水路工事500万円(補正予算) ... (10)
- 町政を問う(6人が登壇) (14)
- シリーズ“地域の子どもたち” (20)

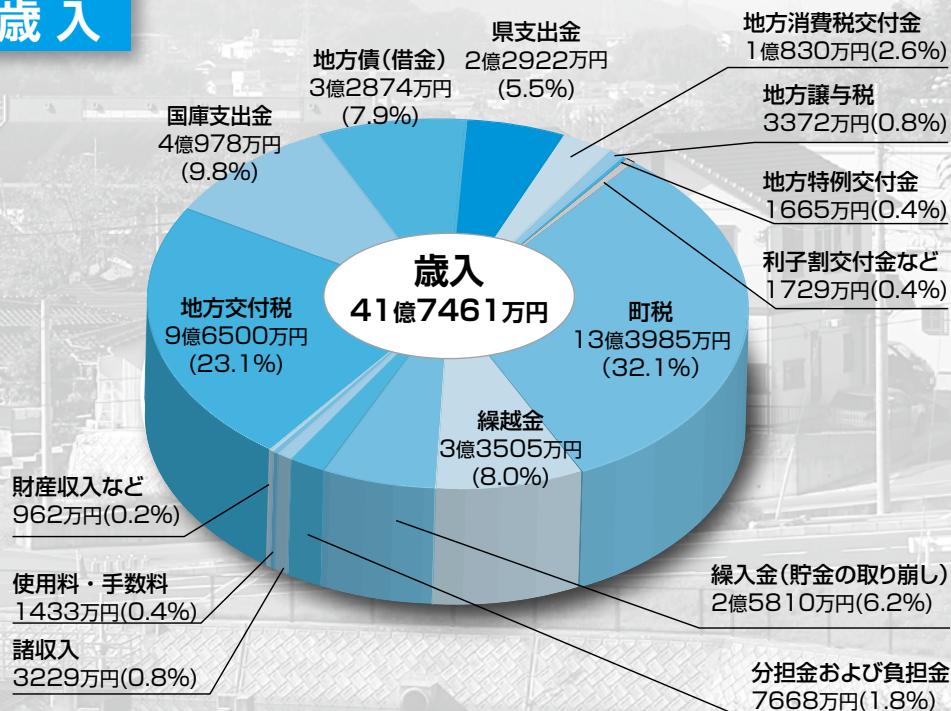
定例会

賛成 5 : 3 反対

成果を認定!

特別会計決算は全会一致で認定

普通会計 歳入



ここが反対!

財調等への積み立ては法に基づいて

仁科英磨議員

財政調整基金等への大幅な積立不足。
法に基づいた適正な処理を確保すべき。

民間企業による住宅団地造成に材料費を支給したことや、強制排水ポンプの寄附を安易に受け入れたこと。

英語指導者派遣委託料6年間で8600万円の支出を安易に行ってきたこと。

工事契約や用地買収、補修費の支払い、物品購入等で、積算や執行に甘い例が見受けられること。

財産に関する調書のうちの土地及び建物について、内訳がない。

平成24年度第4回里庄町議会定例会は、9月3日から18日までの会期で開かれました。議案は平成23年度会計決算の認定8件、平成24年度の補正予算6件、町条例の改正1件、町道路線の廃止1件と認定1件、教育委員会委員の任命2件、合計19件の議案が上程され、すべて原案どおり可決・承認しました。

また、一般会計補正予算(4号)については、付帯決議が上程され、全会一致で可決されました。

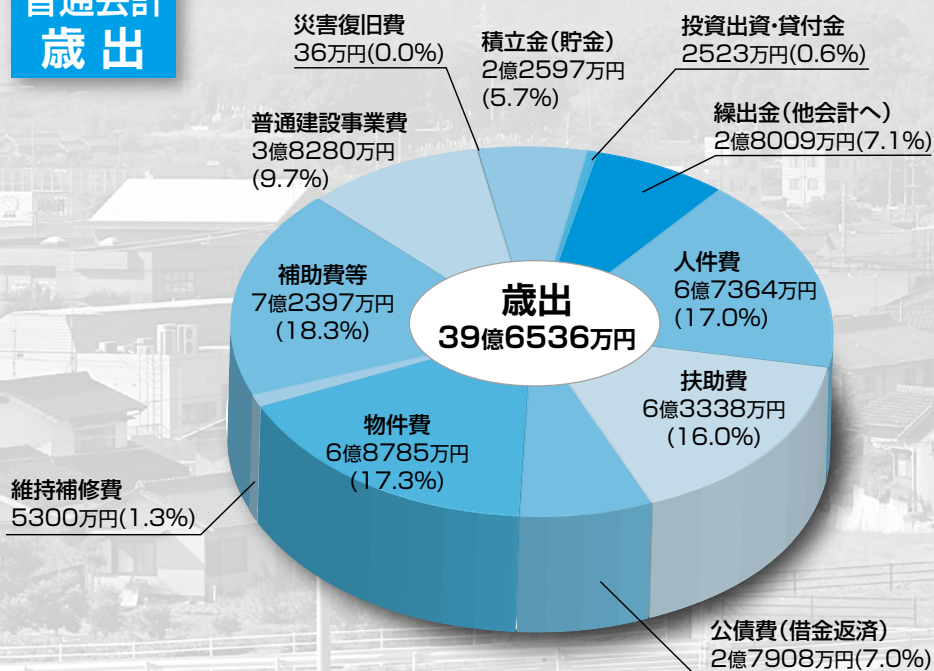
なお、一般質問では6人の議員が登壇し、町の姿勢や考えを問いただきました。



一般会計決算

賛成多数で

普通会計 歳出



普通会計：一般会計（後期高齢者検診関係費を除く。）＋育英奨学資金給与特別会計

ここが反対！

学校への冷暖房設備が未実施

岡本雅道議員

小・中学校への冷暖房設備が全く実施されていない。

公募なしで嘱託職員を秘密裏に採用したこと。そして、不明確な査定での賃金支給。

中学生海外派遣事業は、成績のよい上位9名のご褒美ヨーロッパ観光旅行であり、公平性に欠けた施策。

英語指導者派遣事業は、民間業者に委託したため、年間1592万円が交付税算入されない。

行政が民間造成業者へ材料を支給するのは、業者への利益供与。

ここが反対！

放漫経営のツケは必ず回ってくる

高田卓司議員

町民税や住宅使用料の滞納額が増加し、毎年多額の不納欠損処理をしている。

不用額の多いところが見られる。財政運営上問題がある。

業者の住宅開発の際、道路や水路の改良に数百万円もの材料を町が支給している。また、永久に管理が必要な排水ポンプの維持管理を全て町が負担すること。

最近数年間は、単年度で1億円以上の赤字。しかし、年間数億円以上の大規模事業をやり続けている。放漫経営のツケは必ず回ってくる。

平成23年度の 主な事業内容

- ・229号線、第3工区の箱形管渠・補強土壁工事
- ・生活道路の維持修繕41件、道路改良工事9件
- ・町道新設改良工事は、4路線を実施
(地域活性化・きめ細やかな臨時交付金事業)
- ・防犯灯整備やガードレール、カーブミラーの設置、路側帯の工事
- ・公有財産調査と台帳作成業務を実施
- ・ため池補強工事と水路等維持修繕事業を実施
- ・公営墓地整備事業は、調査設計と用地を購入
- ・美しい森多目的広場の改修工事
- ・地籍調査事業は、0.53km²実施
- ・し尿中間貯留槽の清掃と修繕工事
- ・井笠管内の自治体と共同で縁結び事業を開催
- ・外国人住民基本台帳システムを導入
- ・むつみ会館の改修工事と備品購入等
(岡山県地域支え合い体制づくり事業)
- ・東・西小学校児童クラブの運営補助金の支給



ソフトボール大会

- ・保育園の延長保育を促進
- ・各種検診、健康相談、健康教育、予防接種、妊婦健康診査
- ・乳幼児の健康教育、健康診査、訪問指導等
- ・不妊治療の助成事業
- ・住宅用太陽光発電システム設置事業費の補助
- ・小学校、中学校に3名の英語指導外国人を配置
- ・学校生活支援員を小学校13名、中学校1名、幼稚園3名を配置
- ・文化ホール冷温水器の更新工事
- ・図書館に空調機の設置



天狗見参

平成23年度 会計別決算状況

会計区分		歳入	歳出	差引
一般会計		41億7551万円	39億6647万円	2億 904万円
特別会計	育英奨学資金給与	51万円	30万円	21万円
	国民健康保険	12億 273万円	11億1716万円	8557万円
	介護老人保健施設	4億2684万円	3億9549万円	3135万円
	介護保険	8億3399万円	7億9819万円	3580万円
	後期高齢者医療	1億2238万円	1億2219万円	19万円

公営企業会計(税抜)		収入	支出	差引
水道事業	収益的収支	2億5019万円	2億3622万円	1397万円
	資本的収支	1917万円	7455万円	△5538万円
公共下水道事業	収益的収支	1億9459万円	1億9367万円	92万円
	資本的収支	4億6788万円	4億9146万円	△2358万円

※資本的収支の不足額は損益勘定留保資金等で補てんしました。

質 疑

平成23年度一般会計決算を中心に5人が総括質疑を行いました。その後、総務文教委員会に付託され、建設福祉委員会の協力のもと、審査を行いました。

一般会計決算の認定

23年度の実際の収支は

眞野議員 実質収支に関する調査で、歳入総額、歳出総額、繰り越し財源、実質収支額としているが、家計で考える収支とは異なっている。

35億2569万円、歳出総額は37億2377万円。歳入歳出の差引きは、1億9808万円の赤字。



マコモ同好会ボランティア作業

借金のトータルは

歳入総額に借金も預金の取り崩しも入っている。それで収支を計算して黒字だとか赤字になったとは言わない。

23年度の実際の収支はどうなっているのか。

総務課長 歳入総額は、

眞野議員 23年度に借金

した金額をたずねる。

そのことで、トータル

の借金は幾らになる。

総務課長 借入金の高

総額は、23年度末で一般

会計34億1382万。こ

のうち臨時財政対策債17

億5756万円。

残高全体のうち27億6

980万円は基準財政需

要額に参入されると見込

んでいる。

人件費のシミュレーションは

眞野議員 23年度の人件費は、6億7364万円です、22年度と比較すると5・5%の増になっています。

5年前から比較すると14%増えている。単純計算で試算すると、15年後には10億の人件費。予算が足りないからといって人件費を減らすわ

総務課長 全職員84名中、40名いる30歳後半〜40歳前半が定年でやめていくまでは、ベースアップで上昇する。シミュレーションは、5年間しかしていない。15年後がピークになる。

健全な運営はできたか

眞野議員 町長は、23年度の予算編成時に所信として、基本目標7点を上げ、健全な行財政運営を図ると発言したが、効果的かつ健全な運営ができたか。

町長 全体的にはおおむね実行できた。しかし、職員の意識改革は思うように進んでいない。



シルバー人材センター

業者からの派遣は無駄な支出

仁科議員 英語指導者派遣委託料1559万円は、平成18年度からはアルテ

アセントラル（派遣業者）に払っている。1人当たりの単価、これまでに払った総額は幾らか。

財団法人自治体国際化協会よりも高い。しかも、同協会から受け入れると、1人当たり472万円の交付税算入がある。安くあげるとお

つりがくる。無駄な支出をすべきでない。

教委事務局長 税抜き月額41万2500円で、アパート代月額約5万円を含む。

これまで17人を配置しており、総トータルで8620万円である。

町長 今、変更するつもりはない。

仁科財団は公益財団法人になつてこそ意味がある

仁科議員

西公民館の嘱託職員は、仁科財団の職員にすべき。資産もあるし、事務体制もある形に

きちつとなつていく。海外派遣研修も委託を受けて行うようにすれば、立派な事業もそう。

仁科財団は、公益財団法人になつてこそ意味がある。

一昨日、議員全員が公

ない家庭には色を付けられ

ばよい。

教委事務局長 財団の事業計画にも組まれており、検討の余地はある。

町の中学校に通う子供たちの励みや、町として支援するという考えで、町費に計上してきた。

現在は共催という形。

町長 一部負担を考慮する余地はある。

特別交付税確保の努力は

仁科議員

特別交付税が前年に比べて17・4%、2600万円の減となっている。理由は。

町長や課長は、どのような確保努力をしたか。

総務課長 平成22年度の特別交付税額が多かったためである。

特種事情の報告に努めた。

臨時の理事会・評議員会を開く。

中学生海外派遣事業の見直しは

仁科議員

中学生海外派遣研修旅費600万円は、仁科財団への委託事業として組んでも同じではないか。

直接経費とした理由は。行政と財団の事業が混然一体となっているのは

好ましくない。公益法人制度改革の趣旨もそこにある。

内容の見直しも必要である。

近隣市町では、希望者を募って人選し、2分の1補助が多い。負担でき



理研セミナー

- 仁科議員 その他の質疑
- ・公有財産調査及び台帳作成業務
- ・地方交付税の増額理由
- ・土木費国庫補助金の予算現額と収入済み額
- ・町債の借入先や、借入時期、金利は
- ・組合長手当て分館長手当ては報償費か補助金にすべき
- ・西公民館の嘱託職員
- ・経営収支比率

過去5年の収支比較(一般会計)

単位:百万円

年度	歳入	歳出	形式収支	繰越財源	実質収支	単年度収支	繰上償還財調基金	実質単年度収支	その他の基金	再収支	標準財政規模
平18	4,010	3,583	427	15	412						
平19	4,088	3,732	356	11	346	△66	△44	△110	△81	△191	2,211
平20	4,269	3,879	390	62	328	△17	△79	△96	△143	△239	2,410
平21	4,536	4,167	370	47	323	△6	△124	△130	△184	△314	2,465
平22	4,282	3,948	335	17	318	△5	1	△4	43	39	2,567
平23	4,176	3,966	209	29	181	△137	1	△137	△33	△170	2,550

存続を見直す時期では

岡本議員

美しい森ビジターセンター、キャンプ場使用料の減少理由は、美しい森の維持管理、ビジターセンターの保守・メンテは、かなりの費用が発生する。存続を見直す時期では。

あるいは、もっとPRして、利用を増やすか。

農林建設課参事

利用者は、ここ数年横ばい。

金額の減少は、他地区からの小・中学生に対する減免措置による。

管理費の節約を精査検討したい。また、広報活動を増やしたい。

文化ホールの活用を進めよ

岡本議員

文化ホールの活用をどのように進めるか。教育的なものだけでなく、演芸でもいい。

中学生の海外派遣は、

仁科財団の顕彰事業に挙がっているのだから、同財団の中で進めるべき。

教委事務局長

何か手を打たなければならないと認識している。

海外派遣事業は、今後検討したい。

教育長

文化ホールの利用促進は、町民の声も聞き、工夫・努力したい。

住宅使用料の未納金が増えている

岡本議員

住宅使用料の未納金が年々増え、823万円余りに上っている。費用をかけて修繕した経緯がある。どう取組むか。

農林建設課長 訪問は重ねている。滞納徴収の努力を続けたい。

緊急性があればいいのか

岡本議員

婦人防火クラブと消防団で、研修補助金に差がある理由は、消防団第9部の機庫の補修工事は、何社の入札で、上下は幾らだったか。緊急性があれば何をし

てもいいとは言えない。

総務課長

防火クラブと消防団の差は、計上方法の差。

消防機庫の工事は緊急性があり、2業者からの見積りで随意契約にした。

赤字をどう考える

高田議員

平成24年度への繰越金が今までの約半分になり、23年度は単年度1億3700万円の赤字。

今後、固定費がどんどん増える、特に給料が毎年1・5%増える。

来年から基金を取り崩さなければやっていけない。どう考えるか。

総務課長

最近では赤字の状態が続いている。これは当分続くと考え、行財政改革をやり、無駄遣いを省きながら、計画性を持った財政運営を行う。健全な財政運営に努力。

予算に問題はないか

高田議員

教育振興費で不用額が多い。

学校支援員の賃金、扶助費、社会教育費(1250万円の不用)等。需用費、委託料、賃金など

経常経費に近いものから多額の不用が生じているが、大体の見当はつくはず。

教育長

適切な処理ができていなかったことは、お詫びする。適切に対応する。

教委事務局長

予算に問題はないか。もう少し

時効中断は全て行うべき

高田議員 町税の不納欠損処分185万円の内訳は。

時効中断手続は、できるものは全て行うべき。町営住宅家賃に多額の未収金がある。全く払わないのほうか。

一般寄附255万3000円は、何処からか。毎年あるのか。一般財源か。

源か。

町民課参事 内訳として、

個人町民税95件、36人
固定資産税65件、21人
軽自動車税43件、30人
国民健康保険税でも、

130件、40人

預貯金のほか、前住所地の財産調査等も行い、発見した財産は、税整理組合に差し押えを委託している。

家賃は私債権で、滞納処分はできず、裁判所へ訴えなければならぬ。

農林建設課長 現年分の

徴収率は72%。全く払っていない方もいる。努力は続けたい。

農林建設課参事 井笠地区建物農機具共済事業推進協議会の余剰金が分配されたもの。

今年分は未定。一般財源。

基金をなるべく崩すな

平野議員 財政が赤ということは、金をたくさん使っているということ。

一般会計で34億円の借金。そのうち臨時財政対策等で大体半分が返ってくるが、徐々にしか返ってこない。下水道は工事費がかかる。起債がもう30億円以上ある。

上ある。それを今度は返還していかねければならない。しかも、これから金額がだんだん増える。基金を崩すといつても限界がある。執行部もよく考えて、今の基金をなるべく崩さないようにしてほしい。



庁舎窓口

町の借金と貯金(平成23年度の状況)

平成23年度借金額

5億3904万円

基金(これまでの貯金総額)

33億7282万円

・一般会計

3億2874万円

財政調整基金

8億583万円

・下水道事業会計

2億1030万円

減債基金

2億5197万円

借金(元金)返済額

3億4637万円

開発基金

11億7672万円

・一般会計

2億2682万円

いきいき里庄基金

1億円

・下水道事業会計

1843万円

地域振興基金

5847万円

・下水道事業会計

1億112万円

ふるさと保全基金

6600万円

起債残高(今までの借金残高)

67億7741万円

文化振興基金

5億83万円

・一般会計

34億1382万円

スポーツ振興基金

1億100万円

・水道事業会計

2億2334万円

教育施設整備改修基金

1億4890万円

・下水道事業会計

31億4025万円

土地開発基金

1億302万円

環境整備基金

5000万円

※うち27億6980万円は、元利償還金が地方交付税に算入される。

古山基金

1008万円

公共下水道会計決算の認定

接続率を増やす方策を考えるべき

岡本議員

下水道の水洗化率は、今は72・4%だが、今後は、伸び悩むはず。接続率を増やす方策を考えるべき。

トイレと風呂、台所を分けて接続してもらうことも考えては。

上下水道課長

説明を尽し、下水道によって得られる地域の快適性や利便性を理解してもらい、早

一般会計決算は賛成多数で認定

総務文教委員会に付託された平成23年度会計決算の認定8議案は、建設福祉委員会の協力のものと、関係当局者の説明を聴取し、慎重に審査を行いました。

その結果、おおむね予算に沿った事業が執行されたと認め、一般会計決算は賛成多数で、その他の7議案は全会一致で、原案を認定しました。

町道路線の廃止と認定

建設福祉委員会で審議

委員会に付託された町

います。

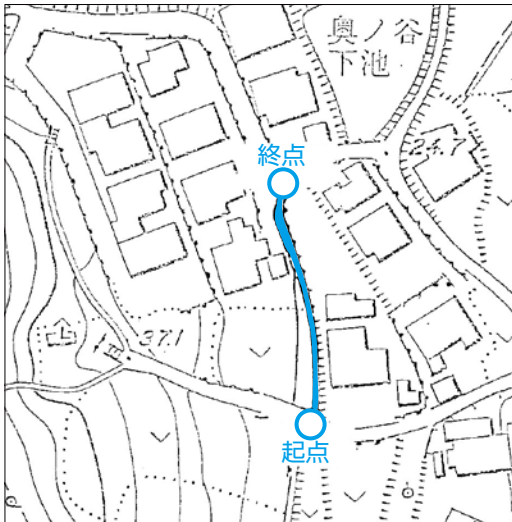
道路線の廃止と認定を審議するため、委員会を9月11日に開催しました。

現地調査を行い、担当課から説明を受けた後、慎重に審議を行いました。

よって、家屋の真下の町道を廃止し、代替道路を町道とすることを、全会一致で認定すべきとの結果になりました。

道路は、50年以上前に建てられた家屋の真下にあり、敷地西側に隣接して代替道路もつくられて

（全会一致で認定）



認定された代替道路(殿迫)

町条例

里庄町防災会議条例及び

里庄町災害対策本部条例の一部改正

東日本大震災から得られた教訓から、里庄町防災会議の審議事項に防災に関する重要事項を追加する等、平時における機能を強化しました。

（全会一致で可決）

防災会議条例及び

災害対策本部条例の一部改正

「消防長」とは誰なのか

岡本議員

里庄町防災会

総務課長

笠岡地区消防組合消防本部の消防長だ。

議の委員に新たに加えるとする「消防長」とは、誰なのか。

補正

平成24年度補正予算6件はすべて原案どおり可決しました。
初日に一般会計補正予算（第三号）、また、最終日に一般会計補正予算（第四号）が上程されました。
質疑は、一般会計と介護保険特別会計から4人が行いました。

配布物の封入作業を シルバー人材センターへ

今まで、配布物の封入作業は町職員で行っていましたが、しかし、通常職務に支障が出るため、委託することにしました。
平成24年度末までの委託料は、382万6000円です。

前年度繰越金を

全額歳入へ

前年度からの繰越金1億8053万円のうち、6月までに計上した7382万円の残り1億6666万円を全額歳入に計上し、その中から財政調整基金へ9026万円を積み立てました。



秋祭りの夕べ(川南)

修繕工事に500万円 新設改良に500万円

6月と7月の大雨被害による緊急的な修繕工事費として、500万円を計上しました。
また、狭田分館から安

広分館にまたがる町道に水路を設置し、排水能力の向上と道路幅員を拡幅します。工事費は500万円です。

24年度 9月補正の結果

会 計 名	補正後の金額	補 正 額
一 般 会 計 (3号)	40億4095万円	1億4403万円
一 般 会 計 (4号)	40億1348万円	△2746万円
国民健康保険特別	11億8937万円	6802万円
介護老人保健施設特別	4億 441万円	1608万円
介護保険特別	9億1292万円	2611万円
後期高齢者医療特別	1億2671万円	△56万円

(すべて全会一致で可決)



封入する広報紙等

一般会計補正予算(3号)

質疑

町村PRイベントの需用費は

岡村議員 町村PRイベント

ント出店等の助成金は。

今後も定期的に開催する

のか。需用費の詳細は。

企画商工課長 町村会主

催のイベントで、今回が

初めて。継続的に開催する

とは聞いていない。

町内の企業で製造して

いるものの仕入れ分と、

販売にかかる消耗品など。

町報等封入作業を

いつから委託するのか

岡村議員

町報等の封入

作業は、これまでどのよ

うにしていたのか。

いつからシルバー人材

センターへ作業を委託す

るのか。

総務課長

町報等の配布

物は月2回発行していた。

町職員10人前後で作業

していたが、職員の負担

を少なくするため、今回

からシルバー人材センタ

ーへ委託。

7月から3月まで委託

する。

委託単価の決め方は

高田議員

町報等の封入

作業を7月からシルバー

人材センターへ委託とす

るが、部数、単価は。

また、その単価の決め

方は。

時間がかかった場合は

金額を変動するのか。

総務課長

1部幾らでな

く、時間で行っている。

1時間、750円かけ

る人数。

月2回発行しているが、

部数が多く時間がかかっ

ている。

時給でなく1部幾らで

岡本議員

封入作業の単

価を決める場合、通常は

時給ではなく1部幾らで

ある。

部数が多いと報酬が上

がるが、少ないときは下

がる。

役場と一般企業の単価

設定が違うのがわかった。

この件については考え

直してほしい。

総務課長

シルバー人材

センターの女性の方が中

財調への積立は大丈夫か

仁科議員

財政調整基金

と開発基金の積立につい

て、大体2分の1ずつぐ

らいと説明があった。

こんな乱暴な話はない。

法律で、繰越金の2分

の1以上は財調基金に積

み立てなければならな

いと決まっているはず。

補正額の積算根拠は。

特定目的基金を含めて

よいという解釈は、大丈

夫か。

副町長 前年度の繰越金

1億8053万円に対し、

両基金への積立金の合計

額は1億1773万円と、

2分の1以上は積み立て

ている。

財調だけではなく、2

分の1以上を積み立てれ

ばよいと理解。

多額の寄附を計上しているが

高田議員

一般寄附金11

万の当初予算が、今回5

32万4000円と、多

額の寄附を計上している。

どこからの寄附か。

また、毎年このような

寄附があるのか。

農林建設参事 平成24年

7月27日に、井笠地区建

物農機具共済事業推進協

議会里庄支部を解散した。

里庄支部の積立金53

2万4000円を、今回

一般寄附金として歳入す

るもの。

来年度の寄附金はない。



ベンチサッカー

質 疑

介護保険特別会計補正予算

大幅減額は大丈夫か

仁科議員 地域密着型介

護サービス給付費と同介
護予防サービス給付費が
大幅減額になっているが、
大丈夫か。

健康福祉課長 介護予防

サービスは、要支援1、

2の方で、利用者がいな
い。

介護サービスは、要介
護1から5の方で、28人
が利用しているだけ。

不足見込みの事業に回
し、差引き0とした。

一般会計補正予算(4号)

繰越金額に誤り

財政調整基金への積立額の増額

繰越金額の合計額

(誤) 2億 903万7000円

(正) 1億8053万7000円

(繰越明許費繰越額2850万円を含めていたため減額)

繰越金の財政調整基金への積立額

変更前 6173万3000円

変更後 9026万9000円

(繰越金額の2分の1に増額)



のこった! のこった!!(殿迫)

決算剰余金積立ての法解釈は適正に

仁科議員 先日、副町長

から、決算剰余金2分の
1以上の積立ては、特定
目的基金でもよいとの答
弁があった。

しかし、地方財政法確
認の結果、その積立金の
処分は、同法が定める5
つの場合に限るとされて
いた。

当町でその条件を満た
すのは、財政調整基金と
減債基金だけ。

そのいずれかに積み立
てるしか方法は無い。

法解釈は前回と同じと
いうなら、その理由は、

開発基金に積んでも、
取崩しは5つの場合に限
るには、条例改正が必要。

また、2分の1部分の
積立額は、幾らか。
法律上間違っているが、

過去のことは何ともしが
たい。今後は適正に処理
すべき。

総務課長 条例改正のつ

もりはない。

開発基金のうちの2分
の1部分の額は、だして
いない。

町長 里庄町は、慣例

的に、財調だけでなく、
ほかの関連の基金に積ん
でもいいと解釈していた。

法律上間違っていたと
は思っていないが、財調

へ積んで崩しても問題な
いので、今後はその方向
で対応したい。



まだまだ元気！

教育委員会委員

人事

里庄町大字里見

9283番地1

定兼 正明氏

里庄町大字里見

265番地1

三吉 俊郎氏

ここが賛成！

法解釈には問題があるが…

仁科英磨議員

法解釈について、執行部の考え方には疑問があるので、発言する。

決算剰余金の処分は、2分の1は、財政調整基金等に積み立てるか、起債の繰上償還に充てなければならない。

積み立てた基金は、地財法の条件を満たさなければならないので、当町では、減債基金もしくは財政調整基金にしなければならない。

この議案については、賛成をする。

計数は正しく算定・計上を！

一般会計補正予算に対する付帯決議

予算及び事務の執行について、以下の点について留意されたい。

1. 予算の執行及び決算の調整にあたっては、法令に基づいて適正に行うこと。
2. 計数については、各施策の制度等に基づき、正しく算定・計上すること。

以上決議する。

(全会一致)

議会広報編集委員会

議会広報の研修に参加

10月15日、「サンピーチおかやま」にて町村議会広報研修会が開催され、当議会の議会広報編集委員の全員が参加しました。「手に取り、読む気にな

る広報紙づくりのポイント」と題された講演会では、議会広報の編集とレイアウトについて実例を見ながら勉強しました。午後からは、参加した



町村の議会広報紙を手に取り、講師の方から具体的な改善について意見をいただきました。議会だよりは住民の方々に議会の活動内容や町の課題などを知っていただく、重要な広報紙です。研修会等で学んだことを実践に活かし、「手に取って・読む気になる」紙面づくりを行いたいと思いました。

一般質問

町政を問う

町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

公募した職員は何人が

総務課長／12人である

問

大内町長の就任以来、正規、嘱託、臨時の職員を何人採用したのか。

そのうち公募したのは、何人か。

総務課長

平成19年度以降、正規9人、嘱託臨時職員18人を採用している。

公募して採用したのは、12人である。

今回採用した職員は、中途採用となる。出身地はどこか。採用に当たってどのような試験や、面接を行ったのか。

重視した資質は、これまで、どのような仕事に関わっていたのか。

副町長

面接で役場を志望した動機、協調性、自分の考えがしっかり言えるかどうか。里庄町にどれくらい愛着を持っているのか。

以上の設問をして、成績優秀な方から、1名を選んだ。

町長

職歴は、製造業や補助的な仕事をしていた。



岡村咲津紀 議員

65歳で嘱託採用

町長／嘱託にした方がうまくいく

問

定年を迎えず退職した職員の、主な退職理由は、健康福祉課に配属された職員が次々に辞職している。人事異動の場合と、新規採用の場合があるが、課内で何か問題が生じていたのではないか。

採用した臨時職員を、なぜ四つ葉の家に、応援にいかせたのか。

今年、65歳になる四つ葉の家の職員を、これまでの臨時職から、報酬15万円の嘱託職員に移行している。

この職員は、専門的な資格を持っているのか。社会福祉協議会の前局長が、四つ葉の家に来ているが、有償か。

町長

体力的に仕事に耐えられないなど、本人の希望で退職届が出たので、受理した。健康福祉課に移動した臨時職員は、仕事に適応できなかった。

また、新規採用の職員

は、笠岡市で30年以上の正職の経験があり、課長補佐も経験しているので、仕事ができるだろうと判断して採用したが、辞めた。

四つ葉の家は、社協の体制の中にあり、本来は町の職員が行くのは好ましくない。

しかし、四つ葉の家の職員が外に出て、中に誰も残っていないという状況があったので、関連のある健福の臨時職員に一時的に居てもらったり、社協の前局長に居てもらう形でやりくりした。

4月から、臨時職を嘱託職にした。その方が、うまくいくという考えのもとである。

その職員は、運転も上手い、四つ葉の家の食事、材料とかほとんど主になつて、切り盛りしており、そういう形にした。前局長は、有償で来てもらった。

平野 敏弘 議員



里見229号は県道に

町長／すぐに町へ移管するわけではない

問

町道里見229号線は、年度末に完成する予定。平成4

年ごろに古山元町長時代に始まった事業で、完成後は県道になるとの説明で、議会も計画に賛成した。

通勤時は町民より町外の利用者の方が圧倒的に多く、街灯や道路舗装、草刈りなど大きな負担となる。

最初の説明どおり県道にしたほうがよい。

理事

バイパス工事完成後は里庄町へ引き継ぐと、平成17年2月に、県と管理移管協定を締結している。

延長2・4 km、幅員約10 m、面積割合で算定するので、約300万円ほどの交付税が町へ入ってくるようになる。

町長

古山元町長の話は、一切知らない。

浜中バイパスにも多額

な費用がかかる。また、大きなため池や県道の改修等も県にお願いする。そして協定書も締結している以上、ある程度の負担はやむを得ない。



工事が進む 229号線

町民が喜ぶ人と呼んで

教委事務局長／満足してもらえよう頑張っていく

問

フロイデは17億円町の町費負担で建てた。講演や漫才、落語などの催しを行い、私も楽しみにしている。

しかし、ここ数年は空席が目立つ。町が費用をかけて実施する以上は、町民が喜ぶ人と呼んで欲しい。11月の文化講演に東国

原氏が来ると聞いた。文化講演に適した文化人はいなかったのか。

町民の意見や要望を入れてやっているのか。

教委事務局長 文化ホール自主事業は、単に有名人がというだけでなく、また高額な費用をかけることなく、文化的な面も

入園は町内在住者に限られているはず

町民課長／来年度から要件を見直す

問

町内の2つの保育園は町が補助金を出していて、入園も町内在住者に限る。

しかし、町外から通園している園児がいるらしいと保護者から聞いた。保育所へ入れるために

町内に住んでいるようにしているのではないのか。

町民課長 該当すると思われる園児は、既に退園をしていた。

特別な事情により児童が町内の祖父母等の住所に住民登録をしている場

考慮し、これからも地域の皆様に満足してもらえ事業の実現に向けて頑張っていきたい。

町長

文化講演について、町民の意見は聞いていない。

東国原氏については、この時期に政治的な色がかかった人が来るのは問題があるということ、ほかの人を打診した。

しかし、既にキャンセル料が発生することや、これから新しい人を選ぶのは難しい。

合、今までは入園の承認をしていた。

来年度からは、児童だけでなく、保護者も住民登録が里庄町にあるということを要件とすることを検討したい。

旅行を優先した団長の懲罰は

町長／懲罰は考えていない

問

消防団長の考え方や団長の責務を問うのに、なぜ団長がこの場にいらないのか。火事が発生しているのに、旅行を優先した判断をどう考えるのか。

町の消防団の指揮命令系統は、団長が出すべきだと思うが。団長は、自らの職務や責務についてどう認識しているのか。

里庄町消防団の信頼を大きく失墜した責任は。町を離れる場合、団員は団長に、団長は町長に報告する規則があるが、規則を破っていないか。町の消防団条例の中に懲戒がある。団長の報酬や懲罰はどうするのか。

町長

消防団や現場にいた人、研修に参加した人や団長とも話をした中、私が説明すれば十分であると解釈し、呼んでいない。

真摯に受け止めなければならぬ。今後、的確な判断のもとに町民の信頼が得られるように、一層消防活動に励んでもらいたい。

懲罰とか消防団長の報酬をどうこうすることは、考えていない。

総務課長

初期消火活動で延焼の恐れがなく鎮圧していた。現場消防団が消防署の指揮下で消火活動をしていた。幹部が不在の際、対応方法を日頃から団長を通じて徹



消防操法大会

底している。今回、問題なく活動をしていたと判断し、旅行を優先した。消防団長は、消防団の事務を統括し、消防団員を指揮監督することが職務であり、地域における消防防災のリーダー。



岡本 雅道 議員

町有地の売買は議会に相談すべき

町長／全てに議会の了承は難しい

問

金山地区内の町有地は、地籍調査で初めて町有地と判明している。

放置状態だった土地を、住宅団地の人が草刈りをし、駐車場代わりに使っていた。どのような理由で売却するのか。

地元に説明もせず、了解も得ないまま、町が町有地を個人に売却するのは、どういう判断か。

幾らで売却するのか。町有地の売買は、執行部の判断だけで決定せず、議会にも相談すべきではないのか。

町長

土地に関しては、金額の交渉や売却目的など、様々なケースがある。すべての土地について議会の了承を得るのは難しい。今後出来る限り相談をしながら、判断していきたい。

農林建設課長

団地の造成完了後に、開発業者から寄附を受けたもので

町有地という認識はあった。

約2メートルの幅の土地で、町有地の有効活用の一環として検討した結果である。

申請者の取得目的は、所有している隣地の土地と合わせ、宅地分譲として整備をする予定である。定住人口の確保が図られ、本町にとってメリットが大きいと判断した。等価交換という形で考えている。現在、最終段階の交渉をしている

緊急質問

問

消防署が指揮をする場合、直接団長と話し合ったうえで指揮をし、電話等で指揮をすることはない。答弁に誤りはないか。

総務課長

消防組織法で、消防団は消防長、消防署長の所轄のもとで活動すると定められている。

眞野 博文 議員



教育現場、教育行政の問題点と今後の対策は

教育長／学力テストの結果は厳しく重く受け止めている

問

4月の学力テストが、岡山県はこれまでで最も低い結果となった。教育長の感想と今後の対策は。

教育現場、教育行政の問題点は、国、県、学校と教育委員会の連携は。いじめの早期発見や対策は。第三者委員会の設置を検討しては。

教育委員会制度の意義、役割について議論がある。町長の考えは。

当町では、町長がかかわり過ぎではないか。

教育長

大変厳しく重く受けとめている。

里庄町の小学校は、県平均よりややよい教科や、やや低い教科があった。

中学校は、おおむね県平均を上回る見込み。

里庄では、自分の考えを書くことに課題があったため、授業を改善中。

また、家庭学習の手引きを作成。放課後等の学力補充も研究中。少人数指導も取り入れている。

落ちついた集団の中で

こそ学力は伸びる。先生方は、子供たちの頑張りを認め、解かる授業をすることに頑張っている。

学校と家庭、地域が力を合わせる事が重要。

町と県のつながりはとれている。また、当町では、学校と教育委員会が近いので、連携は密。

いじめについては、6月と11月に教育相談の週を設け、アンケート調査をし、担任と子供が1対1で話をする等、早期発見、早期対応に努めている。

2学期からは、月1回アンケートを実施。第三者機関の設置は、今は考えていない。

町長

教育委員会の独立性は必要。子供のことは、現場の先生が一番よく理解している。

教育長も教育委員会も努力している。

問

副町長は、以前一般競争入札の導入と総合評価方式の採用を検討すると発言した。検討内容と結果は。

前向きに検討すべき。アフターケアも加味できないか。

随意契約の件数、金額は。

随意契約の問題点をどう認識しているか。

実際に里庄町で、複数の業者からきちんと見積りを徴して、その中で最も安い業者に発注できているかどうか。

担当者の思いや、今まで頼んでいたからという安易な発注は止めるべき。

副町長

検討したが、増加する事務量に対応できるだけのスタッフ

一般競争入札の導入、総合評価方式の採用検討の結果は

副町長／今までどおり指名競争入札を続けたい

フがならず、現実的にできない。

また、手続が長期化し、着工・完了が遅れることは、マイナス。

総合的に判断して、今までどおりの指名競争入札を続けたい。

体制が整ったなら考え直したい気持ちはある。

アフターケアは、契約上無理がある。建設工事は点数をつけ、次の指名の判断材料にはしたい。

総務課長

平成23年度の随意契約は、全会計で、4541件、総額14億7652万円。

全体に占める割合は、件数99・3%、金額68・8%。

平成23年6月21日にガイドラインを作成。

町長

小さい金額でも競争原理が働くようにするのは当然。今まで頼んでいたからはいけませんよと、各課に言っている。

競争性確保のため、できるだけ2社以上から見積りを徴すると定めている。



下水道工事(川南)

地元に情報をどんどん下ろすべき

農林建設課長／町から地元に情報提供を行っことはしない

問

松尾地域の住宅
団地開発事業の
詳細な内容は、
都市計画道路のルート
は変えるべき。変えずに
団地内を先行的に買う場
合、都計道路になるまで
の間は、どう使うのか。
民間の業者ではなく、
公共又は組合方式の区画
整理事業を、なぜ研究・
指導しなかったか。

有効な活用方法を検討。
区画整理事業は、地元
で先頭に立つリーダー、
地域住民の理解と賛同、
その他、相当のエネルギー
と時間が必要である。
町から地元に情報の提
供を行うことはない。関
係者に必要な確認は行う。
排水問題は、地元の水利
委員と協議して進める。

農林建設
課長

全体面積は、約
6500㎡。

ルートは、変えない。
8月から地権者と先行
取得の協議中。取得後は、



問

科学振興仁科財
団の解散決定の
理由は、
公益財団法人には、非
課税という大きなメリッ
トがある。信用性も高い。
仁科財団は、要件を十

分備えている。高邁な、
大きな理想の火を消して
はならない。
中学生の海外派遣事業
は、見直すべき。

教委事務
局長 公益財団法人に
は、メリットも
あるが、デメリットもある。
事務的な負担や財産
管理が規制される等。
財産は町が譲り受け、
町の特別会計でやること
は、現状に合致する。
中学生の派遣事業の見
直しは、考えていない。

町長 財団の理事会・
評議員会で、来
年の3月31日での解散を
決定した。
事業は町が全部引き継
ぎ、支障はないと考える。



仁科 英磨 議員

仁科財団は 解散してはならない

町長／財団の理事会・評議員会で
決定している

町長 財団の理事会・
評議員会で、来
年の3月31日での解散を
決定した。
事業は町が全部引き継
ぎ、支障はないと考える。

自治体国際化協会からの 受入れに戻し、節約すべき

教育長／今の方式を続けたい

問

小・中学校の外
国人英語指導講
師は、年間1500万円
の持ち出しがある。
制度の導入経過、及び
財源は、
6年前に、自治体国際
化協会からの受入れを、
民間への業務委託に変え
た理由は、
今は補充はすぐつく。
1人当り472万円の
地方交付税が上乗せされ
る協会受け入れに戻し、
節約すべきではないか。

教委事務
局長 平成7年より、
協会1人を受け
入れていた。
18年3月に契約の途中
で辞められ、後任をすぐ
に配置してもらえなかつ
たこと等から、町単独の
民間に切り替えた。
現在、3人を各学校に
配置し、全額町費負担。

教育長

今の方式を続け
たい。

その他の質問
Q 登校拒否、不登校
A 指導、学校管理に努力
Q 役場前交差点の信号機
存続問題のその後
A 移設の方針は変わらず

高田 卓司 議員



職務を放棄した消防団長の懲罰を、町長はどう考えるか

町長／懲罰等は考えていない

問

答弁者は消防団長と通告しているのに、町長の判断で呼ばないのは、町長の議会軽視だ。

6月2日早朝の大原東での住宅火災。

私は、当日11部の筒先を持って消火活動をしたから、消防署がどうだったか、よく判っている。消防署の指揮下できちっとしたというのは真つ赤な嘘だ。

火事を横目で見ながら研修旅行に出かけた消防団幹部。団長は、こまで来てバスを降り、後は新幹線で追いかけてもよかった。

地元の火事を放って行く。その団長を支持する町長の考えはおかしい。総務課長の消防組織法18条の解釈は、間違い。消防署は、放水場所を替わってくれと言っただけ。指示は何もしていない。

研修を優先し、職務を放棄した団長の懲罰を、

町長はどう考えるか。

消防団として一番肝心な根本を外れている。消防団長としての適格性も甚だひどい。本人が辞表を出すべき。出さないなら、町長が勧めるべきだ。そういう気持ちがあるかないなら、町長も同格だ。

町長

団長を呼ぶ必要はないと、私が判断した。団長の話を聞いて、それを総務課長が



荒廃農地(池田地区)

らすることといいと、私は思っている。

現場の状況や団員の状況を把握した上で団長が判断したものと思う。11部の消防団と団長の信頼関係もあり、私は、団長の判断を尊重する。

総務課長

完全に正しかったとは言えないかもしれないが、懲罰等は考えていない。辞表を出すのを勧めることも考えていない。

18条3項に、「消防団は、消防長

または消防署長の所轄の下に行動する。」とあり、一部事務組合である里庄町においては、その所轄の下に行動するものと、私は解釈している。

将来荒廃農地になりそうなところにも補助を

町長／補助が妥当という判断ができれば前向きに考える

問

農業再生事業を行った池田地区

で、一部見るに見かねる状態に戻っている。順次、津江等もやるということだったが。

担い手探し、一斉耕起の日を設けての草刈り、農地パトロールは、どうなっているか。

今つくっている土地で将来荒廃農地になりそうなところにも、進入路や水路、圃場の整備に、補助金を出したらどうか。

農林建設課 参事

現在作付けを行っている農業従事者の方でも、10年先には高齢化による離農が考えられる。

新規就農者等を掘り起こし、農地集積のための利用権設定を進め、圃場の拡大を行い機械化農業を推進する必要がある。

今年作付けてから、管理してない農地については、指導したい。

津江については、県道沿い美容院西の耕作放棄地で、事業実施に向けて

町長

補助が妥当という判断ができれば、前向きに考えていい。作業道や水路は、土地を出してもらえば、効果があるところはやる。圃場の整備は、個々の田んぼで判断し、妥当性があれば、補助でなく、町で施行してもよい。

安全パトロール員の方にお礼の手紙

西の平子供会

「おかえり。気をつけて帰るんよ。」

西の平分館でも、毎日、下校の時間になると、通

学路で子ども安全パトロール員の方が子どもたちの安全を見守ってくださっています。下校の時は「おかえり」、遊びに行く時は「車に気をつけて。」と子どもたちに声をかけてくださいます。

「里庄子ども安全パトロール」が発足して、今年で8年目になるのですが、私たち西の平子供会では、その時から安全パトロール員の方にお礼の手紙を書いています。子どもたちの夏休みを利用し、去年は保冷剤入り首巻きたオルを保護者と一緒に手作りし、今年は扇子をプレゼントしました。その他にも子供会では、

地域の方々とふれあいサロンで七夕祭りを楽しんだり、秋祭りの御幣は子供会のみんなで作っています。

今年は、初めて敬老会の方とも掘り大会が予定されていて、子どもたちはとても楽しみにしています。

また、年末には、消防団の夜警にも参加させていただいています。

犯罪者が嫌がる地域は、あいさつやコミュニケーションが活発な地域です。地域の方々には、多くのふれあいの場を設けていただき、また見守っていただいていることを実感しながら、西の平の子どもたちは、安心して登下校したり地域生活を送ることができています。



《第70号》

平成24年10月31日 発行

発行／岡山県 里庄町議会

〒719-0398

岡山県浅口郡里庄町

TEL(0865)64-7217

FAX(0865)64-3618

編集／議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satosho.okayama.jp

●あとかぎ

暑い夏からようやく朝夕が涼しくなつて、秋を感じられるようになってきました。

実りの秋となり、各地区では秋祭りや敬老会でにぎわいました。

議会だよりが、実りのある情報を皆さんに伝えればと考えています。皆様のご意見をお待ちしております。

(小野)



編集委員

委員長：眞野博文 副委員長：小野光三 委員：岡村咲津紀 委員：仁科英磨